

# 平成28年度 伊那市立新山小学校評価表

学校関係者評価 (A：十分達成された B：ほぼ達成された C：不十分であった) 自己(項目間相対を加味した到達度)評価 (a：十分達成された b：ほぼ達成された c：不十分であった)

学校教育目標	重点目標(中長期的目標)
たくましく 心豊かな 新山っ子	<ul style="list-style-type: none"> <li>よく考え自分から実践する子</li> <li>友の中で自分らしさを表現する子</li> <li>健康に関心を持ち心身を鍛える子</li> </ul>
	今年度の重点目標
	<p>&lt;考えよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自ら考え、計画し、実践できる力の育成</li> <li>自分の考えを伝え合い、広げ深め合う学習活動の重視</li> <li>粘り強く最後までやり抜く力の育成</li> <li>自戒自律の心と「思いやり」の心の育成</li> <li>師弟同行(清掃等)</li> </ul> <p>-----</p> <p>&lt;やってみよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思考力・判断力・表現力の育成</li> <li>体験を通じた学び</li> <li>暮らしのなかの食</li> <li>交流や集団行動において進んで活動</li> </ul> <p>-----</p> <p>&lt;響かせよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心に届ける挨拶、返事、歌声の奨励</li> <li>伝え合うことによる響き合い</li> <li>支え合える仲間関係の育成</li> </ul>

総合評価	
<p>本年度は、「たくましく心豊かな新山っ子」を育てるために、学校重点目標に「考えよう・やってみよう・響かせよう」を掲げて取り組んできた。考えようでは、子どもが互いに思いを伝え合うことで、人との関わりを広げ、深める姿をめぐして指導してきた。やってみようでは、地域の講師の協力を得ながら、体験を重視した行事や授業を行った。響かせようでは、朝のあいさつや児童会スローガンSHINE(S-さわやかな挨拶を自分から、H-一人ひとりが一生けんめい、I-いつも元気に、N-仲良く楽しい、E-笑顔で楽しい新山小学校)をもとに、児童も職員も一丸となって取り組んだ。また、新山小学校C.S運営委員会や新山定住促進協議会など地域の方の協力を支えに、充実した教育活動を展開することができ子どもたちが大きく成長した。</p>	
成果と課題	評価
<p>全校児童の個別の児童計画を作成し、可能性の芽をもとに、どのような指導・支援がその子の育ちになるのかを検討して、職員の児童に対する共通理解をより深めるとともに、一人ひとりの子どもに寄せた手だてや育ちを明確もしてきた。そして、その共通理解を基盤に、自分の思いを伝え合う「月目標ふりかえり集会」のあり方を探ることで、集団の一員としてよりよい学校生活を自分たちの手で作っていくとする活動を通して人との関わりを広げたり、深めたりする力を伸ばしてきた。教師が、子どもたちの使う言葉に敏感になり、「なぜ?」「どうして?」「どのように?」を留意しながら、より具体的に掘り下げていくことで、思考や活動が明確になり、自信を持って関わりを広げ深めることができた。</p>	<p>A b</p> <p>・月目標ふりかえり集会は全校児童が関わる活動となるので、関わり方や話し合われたことの受け止めには差が生じてくる。職員による事前・事後指導のあり方をより検討することで、全児童が集会に前向きに関わり、成果を生かせるようにしていく。 ・日々の授業の見直しを行い「授業がもっとよくなる3観点」を徹底していく。その際、「ねらいの達成を見届ける」ことを大切に考えて、少人数の児童一人ひとりが授業のねらいを達成しているかどうかを、問題演習をするなどで確実に把握するとともに、自分の学び方についての振り返りも行うように努めていく。</p>
<p>「暮らしのなかの食」の取り組みでは、日課表に朝の活動として「田んぼ・畑の活動」の時間を設け、児童一人ずつに「マイジョウロ」を持たせて、継続的な活動を促してきた。1～5年生は畑や田んぼで育てた野菜やもち米を収穫して、10月に行われた新山まつりで地域の方に販売する活動を行った。保護者や地域の方の協力で完売となり、達成感の持てる活動となった。課題であった夏の雑草対策も、除草シートを効果的に使うことにより、少人数で畑を管理することができた。</p>	<p>A a</p> <p>・新山保育園、手良小、富巣小との交流を継続していく。特に、今年度手良小とは従来行ってきた全校での交流に加えて、在籍1名の5年生の学習や活動を深めるための交流活動をICTなどを利用して行ってきたので、来年度も東部中学校進学に向けて再らに活動を広げ・深めていくと共に、他の学年でも定期的にICTなどを利用して、交流できるように1ヶ月に一度の教頭・係職員打ち合わせを継続していく。</p>
<p>今年度は校長・教頭・児童会長又は副会長が可能な限り毎朝玄関に立って、登校してくる児童にあいさつの声がけを行う「おはよう玄関」の取り組みを重点的に行った。また地域や保護者へ「信州あいさつ運動」を継続的に呼びかけたこともあり、あいさつへの意識が高まり、「子どもたちのあいさつがよくなった」という声をC.S運営委員会等で何回も聞くことができた。</p>	<p>A a</p> <p>・児童会の「おはよう玄関」、「今月のベストあいさつさん」等の活動を引き続き押し進め、子どもたちが主体的にあいさつを広めていけるよう援助していく。 ・「信州あいさつ運動」の呼びかけを引き続き学校だよりや学級だよりやホームページ、PTAや地域の会合などで行い、定着させていく。</p>

領域	対象	評価項目	評価の観点
教育活動	教育課程	○児童の実態や本校のよさを生かした教育課程の編成	○学校の日課や行事などは子どもたちにとって適切なものであったか。
		○学校の教育活動への理解、伝達	○学校要覧・学校便り・学級便りなどにより、教育内容や子どもたちの様子を保護者や地域にわかりやすく伝えたか。
	学習指導	○児童が主体的に取り組む授業の構築	○子どもたちが意欲を持ち、互いに学び合いながら、主体的に取り組む授業を展開できたか。
		○児童の学習内容の理解と定着	○教科指導により、子どもたちが学習した内容を理解し、習得することができたか。
		○児童の学習習慣の定着	○学習習慣への意識を高め、身に付けることができたか。
		○児童が自分の考えを持ち発言する自己表現力の育成	○発問や展開の工夫により子どもたちが進んで自分の考えを持ち、相手に伝えたりするようになったか。
	生徒指導	○児童の心身ともに健全な生活の保障	○子どもたちは、元気に登校し、楽しく学校生活を送ったか。
		○児童の自主的なあいさつ	○子どもたちは、友だちや地域の方、先生方に進んであいさつができるようになったか。
		○児童の自主的な遊びや運動	○子どもたちは、進んで遊びや運動をし、たくましい心からだにすることができたか。
		○思いやりのある豊かな人間関係	○子どもたちは、さまざまな経験や交流を通して、相手に心を寄せながら人間関係を広げることができたか。
学校運営	安全	○児童の安全確保	○下校指導、交通安全教室等により子どもの安全への意識を高め安心安全を守ることができたか。
		○施設備品点検管理	○管理分担の安全点検を確実にし、子どもの目線に立った施設備品の管理をすることができたか。
	地域	○地域との連携	○地域の方と連携し、PTA活動や各種の地域行事では進んで協力できたか。
		○地域に学ぶ学習	○地域素材を生かし、子どもたちが地域の自然や人から学ぶ学習ができたか。
研修	○職員の資質向上、研究・修養	○自己課題や研修に積極的に取り組み、力をのばすことができたか。	
	○職員の非遵行為防止	○非遵行為への理解を深め、非遵行為を絶対行わないという気持ちをもつことができたか。	

成果と課題		改善策・向上策	
<p>児童数の変化に合わせて、体育は高学年、低学年の3連学年授業を行うなど充実した教育活動が行えるように配慮した。また七夕コンサートや運動会などの行事に合わせて、体育や音楽の授業における連学年編制を柔軟に行い、教科指導の時間内に対応できるように工夫した。</p> <p>今年度も地域公開参観日の案内を市内の全小学校と保育園、幼稚園に配布した。学級通信も全学年が毎週定期的に発行し、児童の様子や予定等を知らせた。また、ホームページは、更新回数を多くして、最新の情報をどんどん発信するようになってきた。今年度も、新聞やTVの取材が数多くあって、学校の様子を地域の方に知らせることができた。</p>	<p>A b A a</p>	<p>来年度以降も少人数の学級があるので、どのような教育課程を組むことが子どもたちの力を伸ばすことにつながるかを考えながら、授業によっては連学年で行うようにする。また、宿泊的行事についても保護者負担も考えながら見直しを控えていく。</p> <p>来年度も市教委との相談の上、地域公開参観日の案内を市内の全小学校、全保育園、幼稚園に配布する。学級便りや学校便りを定期的に発行して情報公開を行い、地域の皆さんとの連携を深めていくようにする。今年度同様ホームページを定期的に更新する。また、参観者の希望に応じて、いつでも授業を公開する。</p>	<p>A b A b A b</p>
<p>全校研究テーマを「自分の考えを広げたり深めたりする力を育む指導・支援のあり方〜自分の思いを伝え合う『月目標ふりかえり集会』を通して」とし、毎月行われる月目標ふりかえり集会を中心として実践を行った。公開授業も全職員で行い、児童に対する共通理解を深めることができた。</p> <p>6年生は全国学力学習状況調査、4.5年生は伊那市学力調査NRTを5.6年生は県のPDCA調査を実施した。また、2学期に全学年でCRT検査を実施した。結果の平均値は市・全国平均を上回るものが多く、少人数の学習によるきめ細かな指導の成果ととらえている。</p> <p>PTAや家庭と連携してノーメディアデーを推進し、ノーテレビやノーゲームの取り組みが浸透してきている。家庭学習の手引きを作成し、学級懇談会などを通じて家庭の学習習慣定着を呼びかけた。児童・保護者共に自己評価の数値は上がってきている。</p> <p>月目標ふりかえり集会や児童集会の話し合いでは、事前にふりかえりシートを書いて自分の考えをまとめたり、形態を工夫してグループ別の話し合いを取り入れたりするなどした。その結果、1年生〜6年生まで自ら発言する子が増えてきた。</p>	<p>A b A B b A</p>	<p>今後も、ふりかえりの時間を確保することを職員で共通理解して、児童が1時間の授業でわかるようになったこと、できるようになったことを毎時間振り返って、自覚することを積み重ねていく。</p> <p>全学年がCRT検査を実施することで、個々の児童の学力の実態を把握するようにして、個別の指導計画に反映させていく。理解の定着が十分でない児童には、今年度開始された放課後学習支援等も使ってよりきめ細かな指導を行っていく必要がある。</p> <p>PTAや家庭と連携し、ノーメディアデーをさらに推進していく。さらに、家庭学習の必要性について呼びかけていく。また、家庭学習に自ら取り組めるように、授業の終末段階でその日の宿題について触れるなど進んで取り組むための工夫をする。</p> <p>授業でも教師の一斉指導のみの展開にならないように、展開の段階で学習課題に対して共同追究を行う場面でペア学習や全体での話し合いの場を設定する。また、児童会等全校での活動でも伝える活動を設定するように意識的に仕組んでいく。</p>	<p>A a A a A a B b</p>
<p>ほとんどの児童が楽しく学校生活を送ることができた。授業だけでなく学校行事に向けての取り組みなどが充実し、子どもが張り合いを持って登校する気持ちにもつながった。職員会議等では、毎回「子どものことから」の時間をとり、子どもの状況について細かく情報交換を行った。</p> <p>児童会本部が、「おはよう玄関」とし、毎朝全校児童を迎えることを一年間続けた。また、「今月のベストあいさつさん」として、毎月一番さわやかなあいさつができていた児童を児童会本部で選んで、下校指導時に全員の前で称揚する活動にも取り組んだ。「信州あいさつ運動」の呼びかけも継続的に、地域の方へのあいさつなども、より自然とできるようになってきたという地域の方の声が多かった。</p> <p>毎週水曜日には「プレー・ザ・ゲーム」として、校庭や体育館で全校児童が遊ぶ活動を続けている。また今年度より月1回曜日にも児童会の「プレー・ザ・ゲーム」を行った。その成果として、本校の肥満の割合は長野県の平均に比べて低く、体力調査の結果も平均を上回るものが多かった。</p> <p>学習活動や人間関係になじめず、なかなか教室に入れない児童の様子も見られたが、スクールカウンセラーや子ども相談室にも関わっていただき、丁寧な支援を行ってきた。その結果1学期の学校評価アンケートに比べて2学期のアンケートでは、「子どもたちは学校へ行くのを楽しみにしている」「人に悲しい思いをさせず、だれとでも仲よくすることができる」の項目が改善された</p>	<p>A a B a</p>	<p>全担任が全児童の担任であるという共通理解のもと、個々の児童の心身の状態に気を配り、気になることは即座に職員間で情報交換を行い、一人ひとりの児童が楽しい学校生活を送れるようにする。</p> <p>今年度指導の重点にしてきた「はい」の返事を来年度も引き続き指導していく。月目標ふりかえり集会や、学び方を学ぶ大切な場ととらえ、発言の所作などを事前・事後に指導時に全員の前で確認するようにしていく。道徳の授業などであいさつについて扱い、あいさつのもつ意味などを子どもたちが考えるようにする。</p> <p>学年を越えた遊びを大切にしていく。その際、月目標振り返り集会などの場でも、遊び方について話し合えるような機会を設定していくことなどして、異年齢集団に配慮した遊びになるよう児童の実態を把握し指導していく。</p> <p>今後も、児童や保護者にアンケートを行い、いじめの早期発見に努めると共に、発見されたいじめや子ども同士との意識の違いに対しては、スクールカウンセラーや子ども相談室など外部機関と連携しながら、全職員で協力して解決に努める。また、児童理解のための研修も今年度同様継続していく。</p>	<p>A a B a</p>
<p>交通安全教室、不審者対応訓練、PTA校外指導部による危険箇所点検、地域安全マップづくりを行った。今年度も交通事故が1件もなく過ごすことができた。年度当初の呼びかけにより見守り隊に登録された方が大幅に増加して100名近くになった。登下校班については児童数の減少に伴い見直ししていく。毎月の安全点検により校舎内外の危険に目を配った。修理箇所は校務技師が即座に対応し修理した。新山は冬季の寒さが厳しいので、水道や消火栓の凍結防止の対応が、写真等を使って誰でも分かるようなシステムが作れるように取り組んでいく。</p>	<p>A a B a</p>	<p>気をゆるめることなく安全対策を図っていく。通学路の安全が確保できるように見守り隊の方との連携をさらに図っていく。小規模特認校生を含む各地区の集団登下校が安全にできるように職員による見回りを継続していく。</p> <p>職員による毎月の安全点検を確実に、危険箇所での早期発見に努め、早めに対処していく。必要に応じて、市教委とも連絡をとり危険箇所の改善を早めに進めていく。除雪については、地域と連携しながら、児童の登下校に配慮して進めたい。</p>	<p>A a A a</p>
<p>新山大運動会、新山まつりを盛大にできた。運動会の準備は、PTAや地域の役員の方の協力でスムーズに進めることができた。伊那まつりや高鳥谷ハイキングなどの行事には大勢の職員が参加した。</p> <p>秋の自然に親しむ日、笛振り、きのこ菌打ち(全校)、草餅づくり(低学年)、トマト狩り(全校)などを通して、地域の自然や人々から学んだ。5・6年生は地域の方に協力で三界山登山を行った。6年生は地域学習で学んだことをもとにして大型紙芝居「丹生山物語」を作成して発表した。</p> <p>外部講師による講演会を3回(他校と連携して実施)行い、法制化された合理的な配慮について学んだり、子どもの見方や自己の在り様などを改めて振り返ることができた。</p> <p>年間計画に基づいて資料や討議の形態を変えるなどの工夫をしながら研修を継続的に行った。職員間のつながりを深める行事も、職員厚生係の計画で何回か行った。</p>	<p>A a A a B b B a</p>	<p>新山定住促進協議会をはじめとする地域の各種団体や地域の皆さんの協力をうけて各種の地域と連携した活動を進めて、たくましく心豊かな新山っ子を育てていきたい。</p> <p>新山小学校C.S運営委員会を年5回開催して、その中で各学級が取り組んでいるふるさと学習に対する支援方法を検討していただくことを継続していく。地域を知り、地域の教材から学び、心にかかる学習を各学級で取り組むようにしたい。</p> <p>職員研修や修養を来年度も年間計画に位置づけ、職員一人一人の力量を高めて、人としての在り様を学んでいく。</p> <p>具体的な事例や周囲の人への影響などを扱うことで、より自分自身のこととして考えられるような内容の研修を行い、本校職員が非遵行為を行うことがないようにする。</p>	<p>A a A a B b B a</p>